

# 平成27年度第1回

## まちづくりふれあいミーティング 質疑応答

市民：

富里にずっと住んでいて、例えば道の駅や皆で食事ができる所など、もっと人を集めるものがあればと感じている。また、市内は野菜の値段が高いために知り合いの多くが芝山の方へ野菜を買いに行っている。肥沃な富里の土地で育った野菜を、もっと市民が手に入れやすくなればと切実に感じている。

市：

同じような意見として、例えば「富里のすいかは千葉県では食べられないのか」などいただくことがある。東京やその他の地方へ出荷する数が多いのは事実。

道の駅については、商工観光課を作り、将来的に繁栄するものなのか、どのくらいの規模であれば皆さんに来てもらえるのかなど、必要なデータを収集していく。また富里には酒々井のアウトレットが近くにあるという強みがある。空港から富里を通過してアウトレットに行く、さらに第三滑走路ができればより多くの人が来る。道の駅については、今後場所などを考えていきたいと思っている。

市民：

最近、岩崎別邸周辺が整備されてきた。色々方針があるとは思いますが、市民の希望になるような計画など、何かあればぜひ伺いたい。

市：

岩崎別邸については、文化的価値が高いものなので、専門家に見てもらい、適切な公開のために準備を進めているが、非常に時間がかかるとは感じている。もっと早く皆さんに公開したいが、難しいのが現状。

市民：

協働のまちづくりについて、現在、市民や地域の活動は、補助金制度などにより活発になってきているように感じるが、目に見えるまちづくりのためには企業との協働を考えていかなければならないと思う。富里の将来像の中にも「臨空都市」とあるが、これからのビジョンについてお聞きしたい。

市：

協働のまちづくりにおいて、企業との協働が少ないのではないのではとのことだが、来年に商工観光課を作るという話が出ている。現状、富里は農業地域が主体であるが、小規模事業者の基本法が国の法律として成立した。富里においては小規模事業

者がほとんどであり、事業を維持するための取り組みに対して補助金をつけるといった基本法と、支援プランができています。また、商工会で来年の観光協会の設立に向け、調査を行っているところ。市においても密接に連絡を取りながら研究をさせていただく。観光協会も小規模事業者の振興に関しても、市と企業の協働と考えており、また市民の理解を得られるような振興策の策定も必要であるということが基本である。市としては全ての産業がバランス良く発展することを基本に考え、仮称ではあるが、産業振興基本条例をまず策定したい。産業分野ごとに実行計画のようなものを策定できればと今年度から始めたところ。現在、市のために商工業者からどのような協力をいただいているかというところ、一番は防災面で、災害応援の協定を各種結んでいただいている。例えば災害時、コンビニでの食糧の提供や消防の広域連携など。協力体制が防災の面から育っているので、それをまちづくりに発展できるように話し合っただけ進めていきたい。

**市民：**

ふるさと納税の周知はどのようにしているのか。市民にはあまり勧めたくないものなのか。また、富里出身者へ納税の呼びかけをしているのか教えて欲しい。

**市：**

ふるさと納税のPRについては現在、市のホームページ、広報紙、ロードレースのプログラムへの掲載で行っているところ。御指摘のようにPR不足という面もあり、現在内容の見直しを行っている。今秋までには、お礼品の充実やPR方法を含めて検討を終える予定

**市民：**

小中学校に相当の空き室があるようだが、これを活用しない手はない。国際的にも、フランス、ドイツ、アメリカでは活用されている事例があったりして、積極的に考えているようだが、市は考えているのかお聞きしたい。

**市：**

空き教室については、問題が深いものがあると思う。教育施設として、各学校にある財産や施設については、専ら教育に使ってほしいという一方で、地域に開かれた学校というテーマもある。その辺のせめぎ合いということにはなろうかと思う。例えば防犯の面について、子どもたちの安心安全は、地域の皆様の協力なくしては守れないし、その辺の協力体制も大切。個別の部分になると各学校長の判断も出てくる。教育委員会として、全体的なコントロールは可能だが、まずは空き教室があるのかなのかということから始まり、地域に根差したテーマに対してスペースをどのように使うかなど、具体的に提案されているのかどうかにも関わってくると思う。承知のとおり、児童がいる間にスペースを使うとすると、申し訳ないが、不特定多数の方が出入りするということで、子ども達の安心安全はどのように確保され

るのかなど協議しながら、まずは各学校で取りまとめていただくのがよろしいのではないかと感じる。

例として、根本名小学校だったと思うが、ボランティアとして敷地内の樹木の剪定を地域で行ってくれている。備品類は学校に保管することなど承知しているが、そのような形で目に見えてくるものだと思う。

**市民：**

富里に引っ越してきてから25年経つが、人は良いが、市全体がこんなに良くなった、変わったという実感が無い。それから、市町村長会で第三滑走路を反対したのは富里市長だけと聞いた。なぜ反対されるのか、羽田にばかり飛行機がとられるという不安がある。成田空港も繁栄して欲しいと願っている。

**市：**

富里は空港と共に育って市になったので、反対する理由は全くない。周辺市町村と歩調を合せ、協力していきたいと考えている。

**市民：**

高齢者のために24時間対応の電話受付ができたが、それ以前に高齢者が生きていて楽しい、不安のない、横のつながりがある、そんな充実した生活を送れるよう、認知症を減らすための対策などを考えて欲しい。

**市：**

24時間対応のいきいきテレフォンが6月から始まったところ。御指摘のとおり、それ以前の対策が大切とのことだが、確かに昔と比べるとむこう三軒、両隣り、顔がわかるという状況が、現在は希薄になってきている。独居の高齢者なども非常に問題になっていて、対策をとらなければと理解している。

以前からある対策としては、シルバークラブなどに参加いただければ仲間作りに役立つ。また、認知症対策として、国では新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）を進めており、市では認知症サポーター養成講座を実施しているところ。しかし現状は、講習を受けたサポーターが活躍できる場がないので、今後活躍の場を作っていけるよう検討しているところ。

**市民：**

先日のロードレースで、ボランティアとして参加していたときに、とても危ないことがあった。九十九荘から上がってきた坂のあたりは、5キロの後ろの方の人達は歩いているようなスピードで、そこに10キロの先頭が早いスピードで来て、5キロの人とぶつかって転ぶ人もいた。そのあたりに役員を多めに配置して欲しい。あまり役員は立ってなかったように見受けられる。

また、ロードレースは12,000人以上が参加し、ボランティアは1,600人以上とのことだが、市民の何分の1にもならない。日吉台や七栄の人は長く住んでいても「スイカロードレースは見たこともない」「NHKのニュースで見ただけ」とのこと、今年も何も関わらずに終わってしまった人もいないのではないか。当日も市役所周辺で富里らしいお土産を買い求めるような姿は見受けられないように感じる。市民全員が何らかの形で関わり、ロードレースがあって嬉しいと思えるようにしてほしい。

市：

貴重な意見とボランティアに協力いただきありがとうございます。10キロは下り坂があり、その後5キロと合流するところで交錯するというのは再三問題になり、実行委員会で協議をしてきたが、坂を上がりきった所という意見は初めてかもしれないので実行委員会で検討させていただく。

市：

言われるとおり、何をやっているかわからない人は沢山いるとは思う。非常に残念ながら、走ることに興味はないという人もいるのも事実。ボランティアは1,600人となっているが、もっと沢山のの人に協力をいただいていると思う。

指摘されている箇所は危険だとは認識している。他に候補を探しているが、専門家から見ると、今のコースが一番良いと言われている。監視員を増やしたいと思う。ロードレースのPRはもっとしていきたい。売っているものについて、この時期はどうもこしとすいかばかりだが、これからもいろいろな意見を参考にして、実行委員会で検討していきたい。

市民：

ふれあいミーティングに何回か参加していて、少しずつ参加する市民も増えてきていて市も努力していると感じるが、参加者はいつも同じという傾向にある。

ミーティングを前半と後半に分けて、例えば後半については、「市民活動について」「子どもたちの安全対策について」など、しぼったテーマで開催すれば意見を言いたいという人が出てくるかもしれない。

市：

貴重な提案ありがとうございます。今後、市民が参加しやすくなるよう検討していく。

市民：

新保健センターができるが、目玉になる政策などあれば教えて欲しい。

市：

新保健センターには現在の健康推進課と子育て支援課が入る予定。そのため、母子保健事業として妊娠・出産・子育てについて手厚くしていきやすくなるのではと考えている。その他には、バスが保健センターの中央の道路に入り、雨の日でも濡れないで集団検診ができるようになる。また、複合施設なので、市民活動サポートセンターも入る。

**市民：**

公共交通について、今はバスなど利用しているが、例えばこの先歩くのが不自由になったとき、保健センターと利用者をどのように繋ぐのかお聞かせ願いたい。

**市：**

公共交通の問題については、駅のない市として長年来の課題と考えている。試験運行とアンケート調査を行い、改善しながら本年4月からの本格運行に至った。今後も今の利用状況について調査をし、検討を重ね改善していきたいと思っている。公共交通の充実については、終わらない宿題と考えて引き続き取り組んでいきたい。

**市民：**

富里のPRのために酒々井アウトレットで農産品の販売店を作ってみてはどうか。そこで販売する野菜に、例えば農家の若手などがアイデアを出し合ってネーミングする。他では「雪の下にんじん」など、野菜でも名前をつけてPRすれば全国に広まる。スイカロードレースも「スイカ」があるから、おやっ？おもしろいなど思い人が集まる。

**市：**

興味深い提案をありがとうございます。酒々井アウトレットの集客はLCC効果が大きく、特に海外からや日帰りのツアーが影響しているようで、空港からの定額バスで買い物に来ている人もいます。これが他のアウトレットとは条件が異なっている点。もちろん、賑わっている所には日本人も出かける。

提案されているような内容を軽く打診したことはあるが、今のところ酒々井が地元という考えのようで、今後は酒々井を介在して提案できればとは考えている。アウトレットの集客を見据えた中で、道の駅や産直、岩崎別邸をまわるなどのコースなど、観光分野を含め、あらゆるチャンネルを利用して仕掛けていきたいと思う。

**市民：**

最近岩崎別邸を観て非常に感銘を受けた。日本の宝だと思う。空港で飛行機を3時間待つ間にトランジットバスでアウトレットと別邸を回ってもらえるなどどうか。非常に勿体ない。

**市民：**

新保健センターができた場合、市役所周辺の駐車場はどのように変わるのか見通しを教えて欲しい。

市：

新保健センターの前に駐車場を用意する予定。市役所周辺の駐車台数としての増減については申し訳ないが、すぐに回答は難しい。

市民：

葉山の子ども館と向台の子ども園のオープンはいつになるのか。

市：

どちらも平成29年度にオープンの予定。

市民：

成田富里いずみ清掃工場の現在の焼却残渣と不燃物の処分先はどこか。

市：

焼却の残渣について、実態は県外へ搬出処理している。熔融炉といってあまり残渣が出ないものになっており、出るのは熔融スラグと飛灰というものがある。計画当初は残渣や飛灰がゼロになるということであったが、各々のリサイクルシステムが稼働していない。県全体でリサイクルをする計画であったものが、東日本大震災の福島原発の放射能関係のゴミと混ざったものを再利用はできないということで停滞しているために、やむなく県外に出しているのが現状。不燃物についてはリサイクル可能なものは積極的にリサイクルし、できないものは県外で処理をしている。

市民：

農家の戸数増減について、平成22年の国の調査では古い。直近の戸数とここ直近の増減を知りたい。

市：

正確な農家戸数の回答は後日お伝えするが、微減だったと思われる。支援制度をフル活用し、新規就農者が増えるよう努めていく。

市民：

まち・ひと・しごとの創生について、現時点の富里市の考えについて教えて欲しい。

市：

地方創生について、具体的な方向性はこれから検討を行うところ。市民へのアン

ゲート調査を実施し、現在取りまとめを行っている。今後の作業の目途として、8月中には計画の素案を取りまとめたいと考えている。

**市民：**

以前は北部コミュニティセンターで健康に関する相談を受けてくれた。以前のように相談できるようにしてほしい。

**市：**

具体的にどのような相談内容なのか後ほど伺い、回答します。

**市民：**

先ほどスイカロードレースで日吉台はあまり関係ないとの話が出たが、コースを市内全域に広げれば参加できるのではないか。

**市：**

コース設定においては難しい問題があり、道路を閉鎖して使用することになるので、地域の交通の流れになるべく影響を与えないように、としている。過去にはコース変更は若干あったが、どうしても七栄を中心にコースが設定されてきた。日吉台までをコースにとると、国道、バイパスがあるので交通の流れを考えると難しいかなと思う。決して意見を否定するわけではなく、道路の整備等進めば、将来的に可能性がないわけではない。

**市民：**

コース設定の協議に参加できるのでしょうか。

**市：**

コース設定については、スイカロードレース大会の実行委員会という組織で定めている。現在も既存のコースの再検証をし、改善に向けて取り組んでいる。

**市民：**

東立沢はロードレース中、全く団地から出られない。買い物にも行けなくて不便さもある。コース沿いの住民を考えるとコース設定を考えるのは難しいのではと感じる。

**市民：**

公共交通について、交通難民である高齢者は行きたい所へ行けない。買い物、日赤、駅、接骨院などに行きたいという人が多いと思うが、市民の要望の場所が入っていない。また、行きも帰りも連絡しなければならず手間がかかる。もっと交通難民のことを考えて、簡単に行きたい場所へ行けるようにしてほしい。

**市：**

現在、一部地域にとっては不便な所もあると思う。今後も引き続き利用者の声を聞きながら、改善していきたい。